

日本学術振興会「結晶加工と評価技術」第145委員会  
第90回委員総会議事録（案）

1. 日 時： 2009年5月18日（月） 17:40 ～ 18:00
2. 場 所： 明治大学 駿河台キャンパス 大学会館 3階 第1, 2会議室
3. 出席者： 委員長： 田島 道夫（宇宙科学研）  
副委員長： 柿本 浩一（九州大学）  
幹 事： 松本 智（慶応大学）、増田 博文（シルトロッキングジャパン(株)）、土肥 俊郎（九州大学）、  
鹿島一日兒（コバレントマテリアル(株)）、小椋 厚志（明治大学）、末岡 浩治（岡山県立大学）、村上 進（㈱日立）、奥村 次徳（首都大学東京）、  
関口 隆史（物資・材料研）、大谷 昇（関西学院）、浜田 功（産総研）、  
西澤 伸一（産総研）、金田 寛（新潟大学）  
委 員： 窪田 邦男（㈱東）、稲葉 克彦（原田 仁平代理 ㈱リガク）、江原 幸治（信越半導体(株)）、伊藤 久義（原研）、孫 珍永（廣沢 一郎代理  
高輝度センター）、川口 研一（㈱富士通）、大鉢 忠（同志社大）、丸山 英治（三洋電機(株)）、佐野 泰久（山内 和人代理 大阪大）、齋藤 忠（東農工大）、  
志村、考功（大阪大）
4. 資 料： 1. 資料90-1 第89回委員総会議事録（案）  
2. 資料90-2 第7期委員名簿  
3. 資料90-3 平成21年度収支予算案
5. 議 事 等
  - (1) 前回議事録（資料89-1）を承認した。
  - (2) 2009年度委員動静・幹事構成について、資料90-2に基づき報告された。
  - (3) 2009年度予算について報告された。  
委員長より資料90-3に基づき平成21年度収支予算案が報告された。昨年度は約186万円の黒字で繰越金総額は約345万円となる。これは本委員会が主催する2011年度開催予定のDRIPおよび2012年度開催予定の第6回JSPS Si Symposiumの開催費用に備える。なお昨今の景気の停滞により退会企業が増えることが予想される。
  - (4) 2010年に開催予定の第6回シリコン材料の科学と技術フォーラムにつき、本委員会が主催して行うことが了承された。（これまでは本委員会は協賛であった。）実行委員長は上浦洋一教授（岡山大）で、岡山にて開催予定。
  - (5) 今後の研究会企画について報告された。テーマと担当者（\*は幹事委員）は以下の通り。
    - (1) 「太陽電池（Si系を中心に、GaAs系多接合、CIGS）」2009年7月30-31日、担当：柿本\*、大下、齋藤、丸山
    - (2) 「結晶加工技術の現状と将来」2009年10月16日、第115回の続編、担当：原田\*、土肥\*、末岡\*
    - (3) 「評価技術」2010年1月頃、担当：関口\*、松本\*、住江、廣沢
    - (4) 「光デバイスの性能・信頼性向上を支える結晶工学」2010年2月頃、担当：上田\*、奥村\*、和田\*、酒井\*
    - (5) 「SiC関連」2010年度、担当：大谷\*、伊藤\*、木本
    - (6) 「歪みおよび結晶欠陥の制御」2010年度、担当：酒井\*、小椋\*
    - (7) 「Siフォトリソ関連」2010年度、担当：和田\*

本委員会に関連するDRIP(半導体内の欠陥検出と画像化とその物理に関する国際会議)の開催予定は以下の通り

- 13th International Conference on Defects - Recognition, Imaging and Physics in Semiconductors (DRIP-XIII) September 13-17, 2009, Wheeling, West Virginia, USA  
<http://www.tms.org/Meetings/Specialty/drip09/home.html>
- 第14回は2011年9月25日-29日、本委員会主催、宮崎にて開催予定 (Organizers: 関口隆史、吉野賢二、田島道夫)

(6) 委員外参加について、委員長より、当研究会の活性化という点では歓迎すべきであるが、会員を減らす手段となつては困る旨の説明があつた。この観点で以下の幹事会での決定について諮られた承された。

- 会費 5,000 円を徴収する。

- 同行者 1 名は出欠回答時に事務局へ申し出るのみでよいが、2 名以上の場合は委員長の承認を必要とする。なお、出欠集計後に会場に余裕が無くなり同行者の出席をお断りする場合がある。

以 上